

峡南医療センターだより



ごあいさつ

企業長 河野 哲夫

このたび、峡南医療センターの広報誌である「峡南医療センターだより」を発行する運びとなりました。これもひとえに皆様方のおかげと感謝申し上げます。

ご承知のとおり、今年4月1日より、「市川三郷病院」と「富士川病院」の2病院、「ケアセンターいちかわ」と「サンビューふじかわ」の2介護老人保健施設の合わせて4施設が統合し、峡南医療センターとしてスタートしたところでもあります。急性期および慢性期、在宅医療に至るまで、地域全体で切れ目なく必要な医療が提供できる、地域完結型医療の実現を目指しております。

町民の皆様方には、広報誌を通じて、できるだけわかりやすく、各病院の診療内容や機能を、また、各介護老人保健施設の様子を紹介してまいりたいと思います。

皆様方のご意見に真摯に耳を傾け、皆様方から信頼される峡南医療センターを構築できるように努力してまいります。引き続きご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

■ 峡南医療センター企業団は市川三郷町と富士川町が設置した一部事務組合

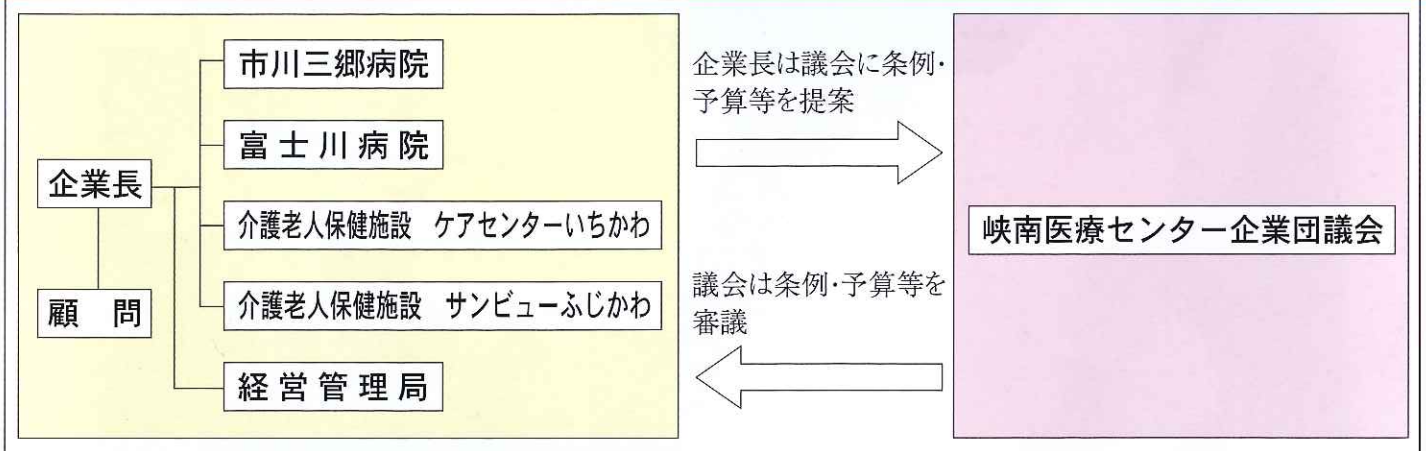
峡南医療センター企業団は、市川三郷町と富士川町が設置した一部事務組合です。

一部事務組合とは、地方自治法第284条第2項において、「事務の一部を共同処理するため」、「協議により規約を定め」、都道府県知事の許可を得て、一部事務組合を設けることができるものとしています。

「事務の一部を共同処理するとは」、市川三郷町と富士川町が①市川三郷病院及び富士川病院の設置及び経営に関する事務、②介護老人保健施設ケアセンターいちかわ及び介護老人保健施設サンビューふじかわの設置及び経営に関する事務、③居宅介護支援センターの設置及び経営に関する事務、を共同で処理することです。

「協議により規約を定め」とありますので、市川三郷町と富士川町で協議し、規約を定め、両町議会で議決をいただき、山梨県知事の許可を得て設立されたものであります。

峡南医療センター企業団の組織図



■ 峡南医療センター企業団は地方公営企業法の全部を適用している公営企業

地方公営企業の経営に関する事務を共同処理する一部事務組合を企業団とといいます。

峡南医療センター企業団は、山梨県内の地方自治体が設置している病院事業では唯一、地方公営企業法の全部を適用しています。

■ 管理者の名称は企業長

地方公営企業法に基づいて、企業団の管理者の名称を「企業長」といいます。

峡南医療センター企業団の「企業長」は、旧市川三郷町立病院の院長でありました、河野哲夫先生です。企業長は企業団を組織する地方公共団体の長（市川三郷町長及び富士川町長）が共同して任命するものです。

■ 企業団には議会があります

峡南医療センター企業団には、町の組織と同じように議会があります。

議会の議員の定数は10名で、市川三郷町と富士川町から選出されたそれぞれ5名の議員で構成されています。

【峡南医療センター企業団議会 構成議員(敬称略)】

市川三郷町	1 番	小林 一史	2 番	内田 利明	3 番	松野 清貴
	4 番	村松 武人	5 番	秋山 詔樹 (議長)		
富士川町	6 番	小林有紀子	7 番	井上 光三	8 番	神田 智
	9 番	齊藤 正行 (副議長)	10 番	市川 淳子		

※番号は議席番号

富士川病院での内科入院再開

富士川病院では内科の入院が再開されました。4月の峡南医療センター発足に伴い、内科医3名を配置し、内科系患者さんの入院受け入れを開始しました。



▲富士川病院個室



◀富士川病院ナースステーション

内科全般の患者さんを担当していますが、特に消化器内科では、胃や大腸のポリープなどを開腹手術せずに行う内視鏡下治療を得意としています。これによって、早期の胃・大腸癌の治療が楽に行え、手術後の回復も早くなりました。病室も広く、快適な入院生活を過ごせます。

市川三郷病院で小児科を再開

市川三郷病院では峡南医療センターの発足に伴い、休止中でありました小児科の外来診療を再開しました。診療は週3回、月・水・木の午後診療、受付時間は午後3時30分までとなります。富士川病院と山梨大学医学部附属病院の医師が交代で診察にあたります。詳しいことは市川三郷病院にお問い合わせください。

市川三郷病院小児科外来診察室



市川三郷病院小児科外来受付

糖尿病と熱中症予防

私たちの体は、自律神経を介して「外気への熱伝導」と「汗による熱放出」のバランスで体温を調節しています。暑熱環境や運動により私たちの体が適切に対処できなければ、熱の産生と放出のバランスが崩れてしまい、体温が著しく上昇してしまいます。この状態を熱中症といいます。

〈糖尿病の人は特に注意!〉

血糖値の高い状態が続いていると、自律神経の障害や皮膚の血流障害がおこりやすくなり、体の調節機能が低下します。そのため発汗機能が低下し体温調節がうまくいかず、熱中症にかかりやすくなります。

- 1) 普段からの血糖コントロールが大事 血糖値の高い状態が続くと、体温調節が難しくなります。
- 2) アルコールやカフェインの摂取が脱水につながる アルコールやカフェインは尿を増やすため、脱水になりやすいので注意。さらにアルコールは血糖値を上昇させます。
- 3) スポーツドリンクには多量の糖分が含まれる すっきり飲めるスポーツドリンクには、意外にたくさんの糖分が含まれています。薄めて飲んだり、糖分の少ない商品を選んだりしましょう。

自作のスポーツドリンクを作ってみましょう。1ℓの水にティースプーン半分の食塩(2g)を溶かすだけ。レモン果汁で香りをつけてもいいかも。自作はちょっと…という場合は、市販の飲料水を選ぶ時に「100ml中にナトリウム80mg」が0.2%の食塩水に相当することを覚えて成分表示を確認し購入してみてください。

〈熱中症にならないために〉

水分補給 一度にたくさんの水を飲むのではなく、少しずつこまめに飲みましょう。

塩分補給 梅干や塩飴などを食べ塩分も補給、ただし、腎障害のある人は主治医に相談を。

十分な休息 室温は28℃以下、湿度は50～60%を目安に環境を整え休みましょう。

高齢者は足腰が弱くなるとトイレに行くのがおっくうになり、水分を取りたがらない傾向ですが、

のどの乾きも感じにくくなるので、乾きを感じなくても蒸し暑い時は水分を取るようにしましょう。まだまだ残暑厳しい季節です。熱中症対策を心がけ、体調を崩さずに食事・運動・薬物療法を継続し血糖コントロールを良好に保っていきましょう!!

糖尿病教室のご案内

毎月、無料講習会を開催しています。
9月18日(木)、10月23日(木)いずれも
15時から16時まで場所は富士川病院
2階大会議室です。

■ 峡南医療センター企業団職員から…

【医療連携センター・相談室】

峡南医療センター4施設には相談と連携の仕事をしている部門があり、各施設の連携と協力を図りながら地域医療と地域ケアへ寄与できるようにその役割を追求しています。

富士川病院には今まで医療福祉相談室はありませんでしたが、4月からその部署も立ち上げ、それまでの連携機能と合わせて、患者さんの受診や受療(治療を受ける権利)相談とその向上を目指しています。特に地域住民の窓口として、病院の持てる医療機能と地域の医療要求とを結びつける役割を發揮できるよう奮闘しています。また患者さんやご家族の療養上の不安や経済的心配、退院先や自宅介護に関する懸念等、様々な悩みや心配などへ相談・対応をしています。行政機関や介護施設、また他医療機関等々との連携も図っています。それらの役割・機能を活用していただき療養上の一助になれば幸いです。

看護師・薬剤師随時募集中



峡南医療センター・相談室の様子

市川三郷病院—富士川病院間の シャトルバス運行時刻表



※土・日曜日、祝日、年末年始は運行いたしません。 ※バスの利用料は無料です。

市川三郷病院 ←→ 富士川病院		市川三郷病院 ←→ 富士川病院	
8:30	→	8:40	
9:00	←	8:50	
9:10	→	9:20	
9:40	←	9:30	
9:55	→	10:05	
10:20	←	10:10	
10:30	→	10:40	
11:00	←	10:50	
11:10	→	11:20	
11:40	←	11:30	
11:50	→	12:00	
12:20	←	12:10	
		12:30	→
		12:40	←
		13:00	→
		12:50	←
		14:00	→
		14:10	←
		14:30	→
		14:20	←
		14:40	→
		14:50	←
		15:10	→
		15:00	←
		15:20	→
		15:30	←
		15:50	→
		15:40	←
		16:00	→
		16:10	←
		16:30	→
		16:20	←
		16:40	→
		16:50	←
		17:10	→
		17:00	←

善意ありがとうございます。

故・青柳やすよ様のご親族様(市川大門)より、ケアセンターいちかわに役立ててくださいと、10万円のご寄付をいただきました。

編集後記

峡南医療センターがオープンして早、4か月が経過しました。今回、創刊号となる広報を発行するのに時間がかかってしまいましたが、委員それぞれが役割を分担し発刊に至りました。今後とも編集委員一同精一杯努力し、町民の皆様に峡南医療センターをお伝えしていきたいと思ひます。 編集委員一同

発行元 峡南医療センター企業団 山梨県南巨摩郡富士川町鯉沢340-1 富士川病院内
 TEL0556-22-3150 FAX0556-22-3151 URL <http://www.kyonan-mc.jp/>
 市川三郷病院 TEL055-272-3000 富士川病院 TEL0556-22-3135
 ケアセンターいちかわ TEL055-272-5121 サンビューふじかわ TEL0556-22-7301